

『感謝のトイレ掃除』 大崎剣道スポーツ少年団卒業記念事業

4月1日(土)、大崎武道館(大崎剣道スポーツ少年団)が平成17年度卒業記念事業として、『感謝のトイレ掃除』を行いました。

これは、毎日の練習で使用させてもらった大崎小学校体育館横のトイレを、卒業生7人とその保護者、城山雅廣校長先生らが感謝の意味を込めて行ったものです。

割り当てられた便器を素手でオソるオソる磨き始めた子ども達も、時間が経つにつれ裸足になり、ひざをついて便器に顔を突っ込むようにして掃除に没頭していました。約3時間後、見違えるようにきれいになったトイレにみなさん感動していたようです。

前後援会長の新小倉龍一さんは「子ども達がこんなに立派な成長を遂げたのも、先生方をはじめまわりのみなさんのおかげだと感謝しています。このすばらしい体験を、今後、大崎武道館の良き伝統として続けていってほしいです。」と話されました。



『安全運転をお願いします！』 春の全国交通安全運動でチラシを配布

春の全国交通安全運動期間中の4月14日(金)、道の駅くくの松原おおさき前の国道220号沿いで、交通安全キャンペーンが行われました。

当日は午後4時から大丸小学校の大丸交通安全少年団21名(ソフト・スイミング部)と交通安全協会大崎支部の10名が参加。志布志警察署交通課長からキャンペーンでの注意事項について説明を受けたあと、警察官のご協力を頂き、2班に分かれ交差点の信号機で止まったところで運転者にチラシなどを配布しました。

子ども達は、一人ひとりに「安全運転をお願いします。」と大きな声をかけながら運転者へ呼びかけていました。

『ウミガメの産卵時期です！』

今年もウミガメの産卵時期がやってきました。

ウミガメはたいへん臆病な動物で、タバコの火ほどの明かりや、人の話し声がするだけで上陸をやめてしまうと言われています。また、上陸しても車のタイヤの跡などが原因で産卵に適した場所への到達が困難な場合には、産卵せずに海に帰ってしまうことがあります。

絶滅の危機に瀕しているウミガメの保護と豊かな自然を守るために、海岸では次の行為はしないようにしましょう。

- 砂浜への車の乗り入れ
- 海岸での花火・焚き火
- 海岸へのごみの投げ捨て
- 無許可での砂や植物の採取 など



▲産卵を終え、海に帰るウミガメ

写真提供：中野孝喜氏